

2021 年度以降の入学検定について

1. 検定時間

検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、以下のいずれかの内容と時間配分です。

- ・「国語」の知識・技能 情報活用能力・言語運用能力（30分）
- ・「算数」の知識・技能 数理的思考力（30分）
- ・「理科」「社会」の知識・技能 自然科学や社会科学からの視点 社会的、科学的思考・判断・表現等の力 教科の枠を超えた思考・判断・表現等の力（45分）

2. 各検査の概要

- ・「国語」の知識・技能、情報活用能力・言語運用能力をみる検査です。

「大問2問」構成になります。主な内容は、以下のとおりです。

大問1 長文を読んで答える問題です。

基礎的・基本的な知識・技能や、思考・判断・表現の力をみます。

大問2 実用的な言語運用能力をみる問題です。

例) ・放送による音声言語の運用能力をみる問題

・図表やグラフ等の情報をふまえて、目的や状況にあった判断をする問題

・複数の文章を読んで総合的に判断したり、情報を活用したりする問題

※大問1・2いずれかに作文問題（まとまった量の文章を書く問題）が入ります。

※大問1・2の内容は年によって入れ替わることがあります。

- ・「算数」の知識・技能、数理的思考力をみる検査です。

「大問4問」構成になります。主な内容は、以下のとおりです。

大問1 中学校の基礎となる計算の問題です。

大問2 算数で学習した幅広い知識についての問題です。

大問3 算数的な場面で、算数で学習したことをもとに考えたり、論理的に説明したりする問題です。

大問4 身の回りの場面で、算数で学習したことをもとに考えたり、論理的に説明したりする問題です。

- ・「理科」「社会」の知識・技能、思考・判断・表現等の力、および教科の枠を超えた思考・判断・

表現等の力をみる検査です。「大問3問」構成になります。主な内容は、以下のとおりです。

大問1 従来の「理科」の検査では、基礎的・基本的な知識などに関する問題や、観察・実験を通して考える問題などを出題してきました。新入試では、さらに科学的に探究する活動について、例えば、実験結果などの事実をもとにどのように推測するか、どのような方法で探究するか、実験結果をどう分析するか、他の人の考えに対してあなたはどうか考えるかなど、より思考力・判断力・表現力を問う内容となります。

大問2 従来の「社会」の検査では、基礎的、基本的な知識に関する問題や、現代社会で起こっている時事的な話題に関する問題、資料を活用して解答を導く問題を主に出版してきました。これらをふまえながら、例えば新しく次のような観点からも出版します。

例) ・小学校社会科で学習する基礎的、基本的な知識を活用して解く、現代社会で起こっている時事的な話題等に関する問題

・正しく読み取った情報をもとに、グラフや地図などの資料にまとめる問題

・複数の資料を比較するなどして、必要な情報を適切に読み取り解答する問題

・課題を解決するために必要な情報を読み取り、それをもとに基礎的、基本的な知識をふまえて思考・判断・表現する問題

大問3 自分の考えをまとめた量の文章で表現する力をみる問題です。

例1 各教科や総合的な学習の時間などで身につけた見方・考え方を使って、考え、判断し、表現する力をみる問題です。社会や理科などの学習を土台にしつつ、複数の教科などを組み合わせた総合的な問題を出すこともあります。

例2 よりよい集団（社会）を作っていくための基礎となる力をみる問題です。学校生活や社会生活の中で起こる課題に対して、納得できる答えや合意できる答えを導き出す問題を出すこともあります。その際、自分の視点や他の人の視点、集団の視点などから多面的・論理的に考察する力を重視します。

※「よりよい集団（社会）を形成していくための基礎となる力」とは、自分がその一員である集団の生活や人間関係において、何が課題かを見いだす、課題を解決するために話し合ったり協働したりしながら合意できる答えを導き出す、自分の意思を決定する、といったことができるために必要な力と捉えています。